

皆さん、本は小さいけど、この中に世界中の情報が溢れています。本のおかげで飛行機や船などに乗らずに、まるで世界中を旅しているようなものです。本を読めば読むほど、自分でもわかってきます。この世界には私の国だけではありません。もっと広くて、私の知らない世界があります。いわゆる謎の世界です。国によって使っている言語も文化も習慣も違います。つまり、その国とつながる方法は、その国の言語を学ぶしかありません。そのためには、やはり本が役に立ちます。けれども、そのやり方は古くなっています。今の時代は本の代わりにユーチューブやグーグルなどの手段がありますから、本を読む人が減っています。携帯電話やパソコンやタブレットの進化とともに、本なんていらないという人も出てきました。若者は特にそういう人が多いし、本が重いから、持っていくのは大変だという人もいます。

しかし、もう一回考えてみたらどうですか。本は電気がなくても、電池がなくても使えますよ。本は素晴らしいと思いませんか。次のページを捲る音、黄ばんだ紙の色、匂い、感触は言語では表せません。あなたは、もう何世代この世の中を旅しているの？私の知る限り、50年以上かなあと私は思いにふける。そしてあなたは売ったり買ったりされているよね。でも、私はあなたが大好きだよ。あなたのページを捲るたびに、まるでタイムマシンのようである。寂しくはないあなた？時代が変わるとともに、あなたの存在も段々人々に忘れられていくでしょう。

また私は面白い話を読みました。世界中で日本人は読書する人が多い、読書にとても興味を持っていることです。その理由は、第一に本を読む習慣を子供の頃から続けているということです。漫画のような子供向きの本が数多くあるから、絵を見ながら本の物語を想像できたことです。第二に新聞で読んだのですが、日本では授業で本を音読する時間があるということですね。そういう習慣は人と本の距離を近くすると思います。そして、その習慣を繰り返したおかげで、大人になってしまっても、その習慣を忘れないでしょう。また、日本には古本屋も多くあります。例えば、ブックオフという店では100円だけで読みたい本が買えます。私もよく利用していますが、珍しい本が手に入るなんて、すごいことだと思います。本に興味がない人は私に「どうして、そんな面倒なものを頼っているの。今の技術は、もう遙かに進んでいるでしょう」と言います。でも私にとって、本はいつでも近くに置けて、いろいろな世界に連れて行ってくれる最高のものです。そして、日本語を学んだおかげで、日本の歴史についての本が日本語で読める幸せを実感しています。

ご静聴ありがとうございました